



床版取替工事の状況／中国自動車道 東ノ迫池橋



NEXCO西日本が管理する高速道路の約4割が開通から30年を超え、老朽化が進んでいます。そのため当社では、道路ネットワーク機能を長期にわたって健全に保つため、橋梁やトンネルなどの構造物をリニューアルする、「高速道路リニューアルプロジェクト」を進めています。

### 中国自動車道リニューアルプロジェクト (吹田JCT～神戸JCT)

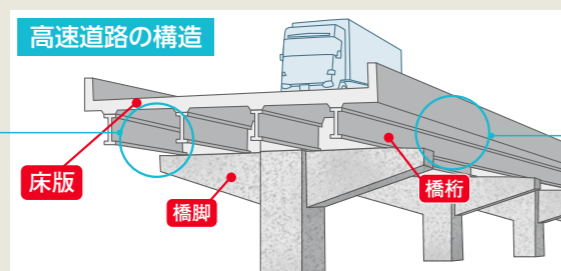
関西都市圏では、2020年度より中国自動車道吹田JCT～神戸JCT間において、大規模なリニューアル工事を予定しています。

1970年の大阪万博開催にあわせて開通した中国自動車道中国吹田IC～中国豊中IC間は50年が経過し、橋梁等の構造物の損傷が進行しています。

このため、抜本的な対策として橋梁の桁や床版を取り替えるなどのリニューアル工事を行うこととしました。



橋梁下面の損傷状況



鋼部材の断面欠損

### 2020年6月に吹田JCT～中国池田ICでリニューアル工事を実施

2020年6月に約2週間の終日通行止めによる工事を実施しました。工事期間中は、周辺道路の渋滞緩和のため、新名神高速道路などへのう回をお願いさせていただき、ご協力いただけたお客さまにSA・PAの割引クーポンの提供や通行料金の引き下げなどを実施しました。また、この工事における一般道を含めた交通への影響等について、交通を専門とする有識者が参画する委員会等で検証することとしています。



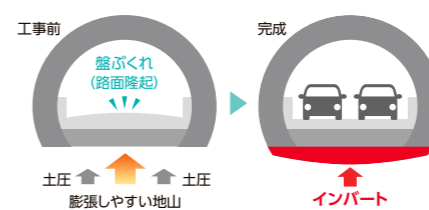
う回路の案内

Voice

### 高知自動車道 大豊IC～南国IC間のトンネル更新事業が完了

明神トンネル（下り線）では盤ぶくれ対策（インバートと呼ばれるコンクリートを設置し、トンネルをリング状の強い構造に改良）を行いました。通行止めを実施せず工事を行う場合は、上下線のどちらかの車線を活用した対面通行により実施しますが、上下線が離れており、かつ、トンネル連続区間であったため、車線を切り替えながら1車線ずつ工事を行う工法を採用しました。これにより、車両が通行してい

るすぐ横で、長期間の工事を行うため、背の高い特殊な仮設コンクリート壁を設置したり、ベルトコンベヤーによる土運搬を行うなど、お客さまの安全や工期短縮の工夫により無事に工事を完了することができました。今後も高速道路のリニューアルプロジェクトは続きます。お客さまへのサービスの低下を可能な限り抑え、安全かつ長期にわたって利用できる強い高速道路の実現に挑戦していきます。



高知高速道路事務所 改築第一課 富永 裕紀



### TOPICS

### 法定点検を完了し 計画的な修繕に取り組んでいます

国により策定されたインフラ長寿命化基本計画等にもとづき、当社では2018年度に対象施設の点検をすべて完了しました。この点検結果にもとづき計画的に順次修繕工事を実施しています。また、法定点検は5年に1回のサイクルで実施するため、2019年度から2巡目の点検を開始し、長期的な高速道路の「安全・安心」の確保に取り組んでいます。

#### 点検及び修繕状況



11,922施設※1 点検完了 (2019年3月時点)

※1 1巡目の法定点検における点検施設数



442施設※2 修繕完了 (2020年3月時点)

※2 1巡目の法定点検結果のうち、健全性Ⅲと診断した1,715施設に対する修繕完了施設数